

■未来への継承■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第164号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

164 目次

1. ブログから：未来への継承
2. トピックス：御宿グッドネイバース
3. 今後の予定：今週・来週以降
4. アクセスポイント：問い合わせ先
5. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

.....

1. ブログから：未来への継承

ようやく地主の学校の執筆を開始した。これまでこのブログにもいろいろと書いてきたが、いざ書籍を目指して書き始めると話の内容も深まって、新たな気づきがあるから面白い。今日はそんな出来事を紹介する。

地主の学校とは、日本が近代化の中で滅ぼしたはずの地主を再生し、新時代型の地主像を構築し、新たな地主を育成しようという取り組みだが、なぜ滅ぼしたはずの地主を再生するのかを、当初うまく説明できなかった。地主の再生を目指すのは、明らかに地主の必要性を感じるからであり、地主を滅ぼしたことは間違いだったとなってしまう。だが、実際には地主は滅びるべくして滅びており、滅びたのは当初正しかったはずだ。結局僕自身の中で、地主が滅びたのは正しかったのか間違いだったのかをはっきりさせなければならない。できることなら、滅びるのが正しかったのが滅んでみたら問題が発生し、やはり滅ぼしたのは間違いだったと気づきたい。

復活させたい地主の役割は継承だ。継承とは、売買でなく引き継ぎのこと。江戸時代にはすでに土地売買があったものの、貨幣経済が発達する以前のことであり、そんな事例はわずかなものだ。地主は土地を所有していたというよりは、領主から土地を預かり管理していたのに近かった。明治維新以後日本は急速に近代化し、年貢制が廃止され、地主は地租という税金を払うようになり、土地の開発や売買も盛んになってきた。もちろん地主だけでなく、地主家族の次男以下や小作人など全ての人たちが、封建社会から解放されていったのだが、それは従来のやり方を継承しないことによるものだ。つまり昔から引き継がれるバトンを受け取らないことが、昔のしがらみからの開放だった。

ところが、せっかく民主的な豊かな暮らしが実現したのに、その継承が行われていない。例えば、せっかく勉強していい会社に入り素晴らしい功績を残しても、その手柄やキャリアを継承せず、子どもたちはまた受験戦争や就職活動で苦勞している。せっかくローンを組んでマイホームを購入しても、そこに子供たちは同居せず、新た

な家を購入して別居してしまう。やがて故郷の実家から年老いた両親を引き取って、故郷の家は売却してしまう。新たなチャンスが与えられ、新たな成功も可能になったが、空き家や廃業が増え続け、地方がどんどん寂れていくのは、次世代への継承をせず、何も守ろうとしていないせいではないだろうか。いま世界では耕作放棄の原因として天災・干ばつ・戦禍の3つが挙げられており、その原因が後継者不足などと言っているのは日本だけだ。むしろ福島での耕作放棄の原因として、原発と争うべきなのに、大きな責任を見過ごしていること自体が無責任ではないだろうか。売買の代金は、まるで過去と決別する手切れ金であり、たとえ相続という継承でさえ、相続税という手切れ金を払うために土地を売らなければならない。

そもそも過去を踏襲するために継承するのは、過去を大切に思い、守りたいと望むから。これは、ユネスコの「世界無形文化遺産」の定義だ。自然や建物などの有形遺産なら、その科学的あるいは文化的価値を誰もが認めて保存するが、人間の営みである「無形文化」には、優劣など付けられないので価値という言葉を使わない。肝心なのは「大切に思う心」であり、継承とはすべてを引き継がなくても大切なものだけを引き継げばいいはずだ。それでは一体過去とは何だろう。僕たちにとっての大事な過去とは何を指すのだろう。

実は今現在僕たちがしていることは、やがてすべてが過去になる。過去を継承しようがしまいが、これからやることもすべてが過去になっていく。だとすると、僕たちが今やっていることや、これからやろうとしていることを、未来に残したいと思わないのか。せっかく辛い過去から解放されたのなら、その自由を未来に継承したいと思わないのか。継承とは、過去を引き継ぐことと考えがちだが、同時に未来に伝えることであり、僕たちはすでに伝える側でもある訳だ。改革とは過去からの継承をやめることかも知れないが、未来への継承をせずに世界を変えることなどできるのかと、僕は言いたい。

<http://nanoni.co.jp/20180624-2/>

.....

2. トピックス：御宿グッドネイバース

今週の火・水は、御宿グッドネイバースで活動します。

6/26(火)は、夕方 17 時ころまでよろず相談会。

ビジネス・進路・チャレンジなど、ワクワクするようなアドバイスを差し上げます。

6/27(水)は、グッドネイバースのメンバーとじっくり作戦会議を行います。

興味のある人は、誰でも参加してかまいませんので、気軽にお越しください。

.....

3. 今後の予定：今週・来週以降

凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。

◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。

●同行可能：僕の訪問先にお連れします。

★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

- (月) 6/25 ○終日笑恵館で面談可
(火) 6/26 ○御宿で面談可 (御宿グッドネイバース)
10-17時 ★御宿 よろず相談会
(水) 6/27 ○御宿で面談可
10-17時 ●御宿 ミーティング
(木) 6/28 ○午後から笑恵館で面談可
17-19時 ★笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
(金) 6/29 ○なのに作業日 (青葉台)
(土) 6/30 ○終日笑恵館で面談可
12-18時 ★地主の学校を語る会
(日) 7/01 ○休業日

■その後のイベント

- 7/07 ★地主の学校を語る会 (笑恵館)
7/12 ★日本土地資源協会経営会議 (笑恵館)
7/12 ★笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
7/15 ★今年も行くよ 江の島早朝海水浴
7/19 ★なるほどデイ・持ち寄り食事会 (笑恵館)
7/22 ★名栗の森オーナーシップクラブ例会 (飯能)
7/26 ★笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで随時公開しています。 <http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669 taku8823@ezweb.ne.jp

自 宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe...>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>